

オープニングパーティー

1月11日(水)7:00～8.30p.m.

トークイベント

1月27日(金)7:10～8:40p.m. 参加無料・要予約

大原大次郎(グラフィックデザイナー)×関川航平

「生まれてしまったものの混乱」

関川航平は、鉛筆で描いたドローイング作品「figure」で第14回グラフィック「I\_WALL」のグランプリを受賞しました。現実には存在しないものを想像して、あたかも実在するかのよう描く手法が、審査員から高く評価されました。

鉛筆で緻密に描いた玩具や工芸品、生き物などは実際には存在しない架空のものです。対象は手に取ったときの感覚まで想像させるような、リアリティーのある質感で描かれています。

絵だけではなくパフォーマンスでの表現活動も行う関川は、物事を言葉だけで把握しようとすると、言い表せなかった部分はすくい取れなくなると考え、言葉を介さないで伝える方法の一つとしてドローイングで表現しています。ただリアルに描くという自分に課した課題に描かされるようにして制作し、確固たる完成イメージは自身の中にもないと言います。

鑑賞者は、実体がないにも関わらず現実感のある対象と向き合うこととなります。会場では、グランプリ受賞後から約1年をかけて新たに描いた作品を中心に展示をします。

つきましては、周知にご協力いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ガーディアン・ガーデン

「理解する」ということは一体どういうことなのかを捉え直したいと思う。

そのためには、言葉や形によって指し示された先だけを理解の対象にするのではなく、「指し示し」それ自体の存在を認めることが重要である。とはいえ自分や他人のなかに生まれてしまった混乱は、具体的な何かを媒介にしなければ共有することができないというもどかしさがある。その受け入れのバリエーションとして、まずは絵を描いてみる。

「figure out」にポジティブな断絶を。

関川航平

関川航平 Kohei Sekigawa

1990年 宮城県生まれ

2013年 筑波大学芸術専門学群特別カリキュラム版画コース卒業

2016年 第14回グラフィック「I\_WALL」グランプリ受賞

